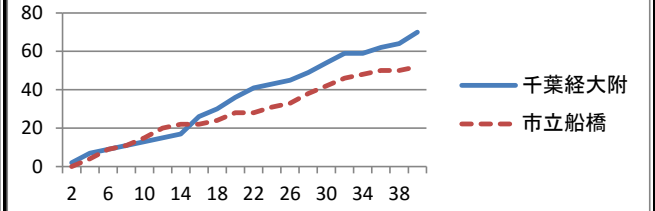
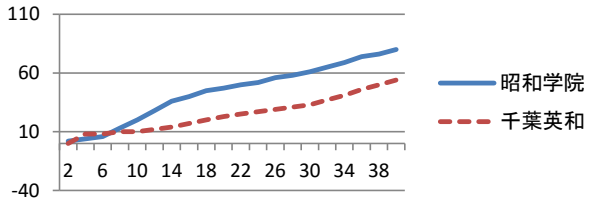


ピリオドスコア・戦評 決勝リーグ その1

2016/6/18

Game		Team		1Q	2Q	3Q	4Q	OT	Total	
A5	201	女	昭和学院	◎	22	25	14	19		80
	222		千葉英和	○	10	13	10	21		54

Game		Team		1Q	2Q	3Q	4Q	OT	Total	
B5	242	女	千葉経大附	◎	13	23	18	16		70
	282		市立船橋	◎	15	13	14	10		52

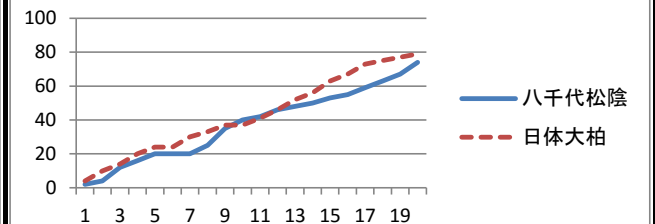
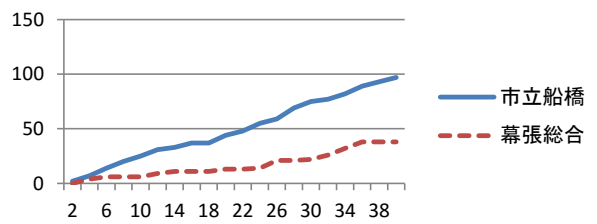


序盤こそ硬さがあった昭和学院だったが、#8、#12を中心にインサイドで得点を重ねると徐々に点差が開いていく。後半、千葉英和はゾーンディフェンスや外のシュートで反撃を試みるが、攻守ともに高さに勝る昭和学院が圧倒し1勝をあげた

第2シード市立船橋と第3シード千葉経済の対戦。IH出場をかけた重要な決勝リーグ初戦は両チームの気迫のこもった対戦となった。序盤は全くの互角。2Q終盤、硬いディフェンスから流れを作った千葉経済がインサイドを中心に加点しリードで折り返し。後半は五分の展開がつづく。何とか巻き返しを図りたい船橋は果敢に3Pを狙うが思うように決まらず、落ち着いた試合運びで千葉経済が貴重な1勝を挙げた。

Game		Team		1Q	2Q	3Q	4Q	OT	Total	
A6	101	男	市立船橋	◎	25	19	31	22		97
	141		幕張総合	◎	6	7	9	16		38

Game		Team		1Q	2Q	3Q	4Q	OT	Total	
B6	142	男	八千代松陰	◎	20	20	13	21		74
	182		日体大柏	◎	24	13	26	16		79



市立船橋が攻守ともに幕張総合を圧倒。ゲームは終始市立船橋が主導権を握る展開。幕張総合は得意の早いオフenseが市立船橋の強固なディフェンスの前に沈黙。王者市立船橋がまずリーグ戦1勝を手に入れた。

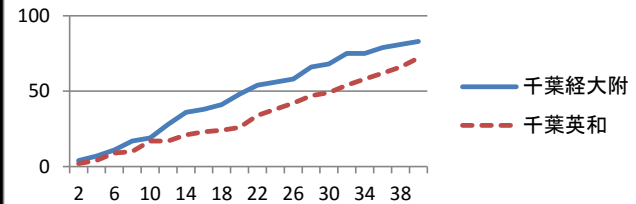
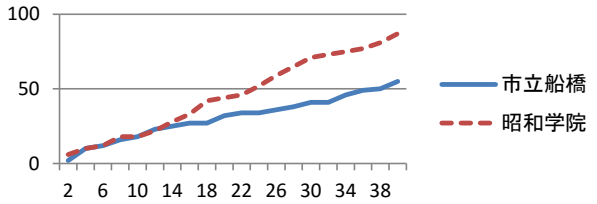
攻守に#18の高さを活かした日体大柏が主導権を握ったが、八千代松陰も#4、#8の3Pで追撃。2Q日体大柏がゾーンディフェンスに変えると八千代松陰の3Pが決まり前半終了間際に逆転した。3Q、日体大柏がオールコートゾーンプレスを仕掛けると徐々に点差が広がり始めていった。4Q最後まで八千代松陰は粘るが、落ち着いたゲーム運びで日体大柏が勝利した。

ピリオドスコア・戦評 決勝リーグ その2

2015/6/21

Game		Team		1Q	2Q	3Q	4Q	OT	Total	
A1	282	女	市立船橋	◎	18	14	9	14		55
	201		昭和学院	◎	18	26	27	16		87

Game		Team		1Q	2Q	3Q	4Q	OT	Total	
B1	242	女	千葉経大附	◎	19	29	20	15		83
	222		千葉英和	○	17	9	23	23		72

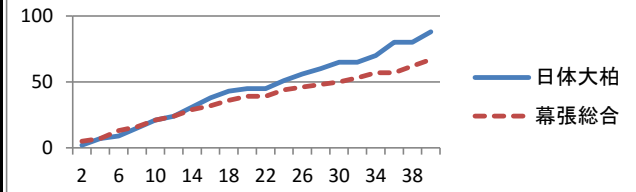
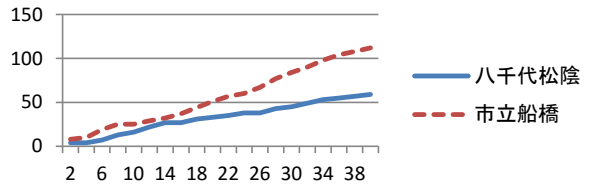


1Qは、昭和のスピードと身長を生かした攻撃で得点を重ね昭和のリードでスタートした。
しかし、市船の#13を起点にし、接戦に持ち込んだ。
2Qは、昭和の#12が入り#8とのセンタープレーが増え市船は自分達のプレーに持ち込めず得点が離れた。
3Qは、市船のスピードのあるドライブや粘り強いディフェンスをしたが昭和の落ち着いたプレーで更に点差を広げた。
4Qは、市船がオールコートマンツーマンに切り替え攻め続けていたが55-87で昭和が勝利し、インターハイ出場を決定した。

両チームマンツーマンディフェンスで試合開始。
1Qはお互い一進一退の攻防が続き、19-17で経済リードで終了。
2Q早々経済#5のシュートが決まり、勢いに乗った経済がリードし、点差が一気に広がった。一方、英和はスクリーンプレーや合わせを使うが厳しいディフェンスに苦戦し点差が縮まらない。3Qで英和のシュートが入り始めるが、経済のドライブからのシュートで逃げ切る。
4Qも3Qと同様に、最後まで経済の速さが衰えず点差が縮まることなく83-72で経済が勝利した。
経済がインターハイ出場の切符を手にした。

Game		Team		1Q	2Q	3Q	4Q	OT	Total	
A2	142	男	八千代松陰	◎	16	17	12	14		59
	101		市立船橋	◎	25	26	33	28		112

Game		Team		1Q	2Q	3Q	4Q	OT	Total	
B2	182	男	日体大柏	◎	21	24	20	23		88
	141		幕張総合	◎	21	18	11	17		67

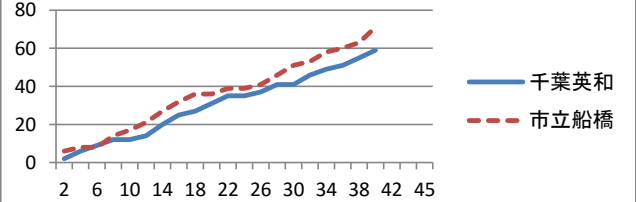
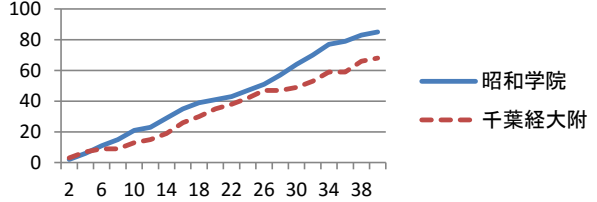


前半はお互いスリーポイントを狙うプレーが多かったが、シュート率の良い市船が流れをつかんだ。
八千代松陰も一時は5点差まで縮めるが、市船の#17のスリーポイントを決め手に18点差で終了。
後半は八千代松陰のドライブで市船のファールが増えた。しかし、得点につなげる事が出来ず、市船のリバウンドやスリーポイントが目立った。2Qの後半から市船の流れを変えることが出来ず、112-59で幕を閉じた。

前半はお互いにゾーンディフェンス、幕総#4のスリーポイントでゲームが動き出す。幕総の前線からのプレスに日体は苦しむが、2Qから中、外のパス回しが上手くいき、外からのシュートが入りだす。幕総も負けじとシュートを打つが、得点に繋げる事が出来ない。流れに乗った日体はその後も点を決め続け、6点リードで終了。
後半、幕総は粘り強いディフェンスをするが、流れを自分達のものに出来ず点差をつけられ、日体の勢いを止められず88-67で試合終了。

Game		Team		1Q	2Q	3Q	4Q	OT	Total	
A3	201	女	昭和学院	◎	21	20	23	21		85
	242		千葉経大附	◎	13	22	14	19		68

Game		Team		1Q	2Q	3Q	4Q	OT	Total	
B3	222	女	千葉英和	○	12	19	10	18		59
	282		市立船橋	◎	17	19	15	20		71

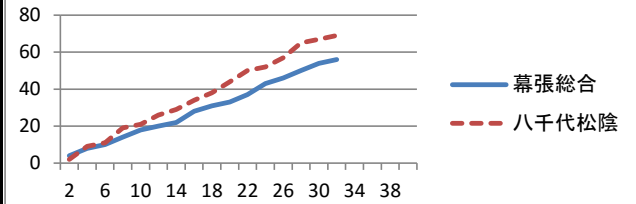
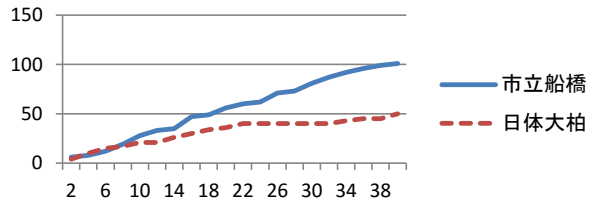


1Qは、経済の#4のディフェンスにより、昭和のセンタープレーが機能しなかった。
2Qは、昭和の#8のインサイドプレーが機能し始め、#11のパスカットからの速攻により点数を重ねる。しかし、経済の#7のスリーポイントで流れが変わり、僅差で前半終了。
3Qは、昭和のセンターに当たり続けるが点差は離れていった。
4Qは、経済の切り替えの速さやカットインで点差を縮めようとするが、昭和のインサイドプレーは強く、85-68で昭和が全勝した。

1Q両チームマンツーマンから始まり、試合開始5分で市船がゾーンディフェンスに変えた。それによって英和は苦戦しシュートが決まらず点差が縮まらなかった。2Q市船の一对一からのシュートが決まるが、英和も負けじと#6、#9の連続スリーポイントで追い上げる。
3Q英和のシュート率が下がる一方で市船の#13のスリーポイントが入り更に点差が開いた。
4Q市船の流れを止める事が出来ず、59-71で市船が勝利した。

Game		Team		1Q	2Q	3Q	4Q	OT	Total	
A4	101	男	市立船橋	◎	28	28	25	20		101
	182		日体大柏	◎	21	15	4	10		50

Game		Team		1Q	2Q	3Q	4Q	OT	Total	
B4	141	男	幕張総合	◎	18	15	21	10		64
	142		八千代松陰	◎	21	23	23	27		94



前半は互いにマンツーマンディフェンス。先取点は市船が取るが、日体の3Pが入り流れは日体へ。しかし、市船は#7を起点に合わせのプレーが増え、市船が流れを取り戻した。2Qから市船のディフェンスリバウンドからの攻めが決まるようになりセンターの合わせが多くみられた。
市船の勢いは止まらず日体は自分達らしいプレーが出来ず点差を離されていった。
その後市船は51点のリードをつけ、101-50で勝利しインターハイ出場を決めた。

幕総の強気のドライブと、八千代松陰のセンタープレーや3Pの互角の対決。3Q終盤で八千代松陰の3Pが連続で決まり10点リードとなる。
後半、幕張の激しいディフェンスとオフェンスリバウンドで流れをつかみかけるもファールがかさみ、松陰にフリースローを与えてしまう。その後も激しい攻防が繰り返される中で、八千代松陰が着実に加点し勝利に繋がった。